

わがまち わかまつ

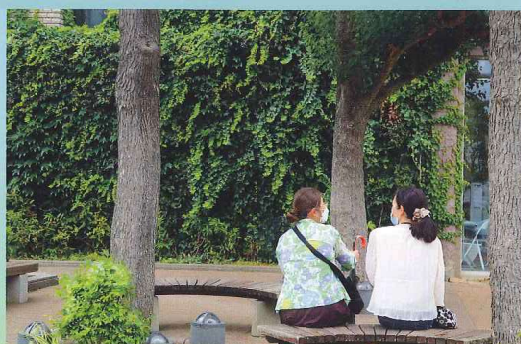


2021年 7/14 発行

若松地域センター
花とみどりの憩いの広場



前庭花壇整備 6月8日



■ ご挨拶 若松地域センター管理運営委員会 会長 野尻 信江

コロナウイルス収束の気配もないままに季節はめぐり、新緑が目に見え、鮮やかな5月、会長を務めさせていただくこととなりました。本委員会は会則にうたわれているように、豊かで楽しいまちづくりの拠点となるセンターの運営を目的としています。本年度さらに多くの団体の方々と連携し大きな輪となって、若松地域の活性化、より堅固な地域の絆・コミュニティの醸成に寄与して参りたいと存じます。若松地域センターは本広報誌2面に掲載のとおりコミュニティ事業が満載です。しばらくの間はセンターがワクチンの接種会場となる日もありますが、事業開催の折には是非ご来場いただきお楽しみいただけますよう、委員一同心からお待ち申し上げております。



衣類でむすぶ リボンの会

■ 眠っている衣類を集めています!

まだ着ることが出来る衣服が廃棄処分される「衣服ロス」が新たな環境問題になっています。環境省の調査によると、連日トラック130台分もの衣類が焼却処分されています。一方で、海外にはこのように処分される中古衣類を重宝して使いたいと思っている多くの方もいます。その橋渡しをするのがリボンの会です。回収した衣類たちは東南アジアで仕分けされた後、そこで蘇り再び活躍しています。

若松地区の回収日は、町会・自治会の掲示板などでお知らせします。不要になった衣類は廃棄せず、思い出とともにリボンの会にお預けください。

♡衣類でむすぶリボンの会(土屋)



■ 「お詫びと訂正」

前号、わがまちわかまつ8号(2021年3月31日発行)の2面に掲載いたしました、「国立国際医療研究センター病院特定看護師からの声」に誤りがございました。正式には認定看護師からの声です。既にお読みになられた方々、また、取材にご協力いただいた認定看護師、杵木 優子さん、石井 光子さんに改めてお詫び申し上げます。(若松地域センター管理運営委員会)



■ 「事務局通信」発行 事務局長 佐藤 泰丘

若松地域センター管理運営委員会事務局では、センター利用の皆様にご利用にあたっての決まり事や変更事項などをお知らせするために、毎月、「事務局通信」を発行しています。また、施設へのご要望や疑問点などの投書をいただいた際にも、その対応や解決などを検討して掲載していきます。手作り紙面ですが、今後ホームページへの掲出も準備中ですので、ご活用ください。

ワクチン接種について

♡ 若松地域センターでの新型コロナウイルス感染予防ワクチンの接種日は以下のとおりです。

7月27日・28日・29日・31日

8月10日・11日・12日・14日・24日・25日・26日・28日

接種日となる場合は、休館扱いとなり接種以外のご利用はできませんので、ご理解をお願いいたします。なお、接種日は変更となる場合があります。その際はホームページなどでお知らせします。



若松地区・町別人口

住吉町=2,765 市谷台町=1,415 富久町=7,152 河田町=2,862 若松町=5,730 余丁町=4,113
戸山1丁目=2,315 戸山2丁目=5,462 戸山3丁目=1,099 新宿区人口=343,581 (2021.6.1現在)

若松地区の紹介

工夫を凝らした環境への取り組み



新宿区立牛込仲之小学校 校長 勝沼 康夫

毎年、4年生を中心に環境学習に取り組んでいます。環境についての科学的な知識や体験、環境のために自分は何ができるかという思考を大切にすすめています。東京都水道局による出前授業では、日常生活における水道水の役割や東京水道の未来への取組として、ろ過実験などの体験を通して環境対策を学びます。

また、「みどりの小道」環境日記も活用し、体験したことや新たな発見、感じたことなどをまとめています。このように記録をしていくことで、より一層環境問題を身近に捉え、今自分たちができることは何かを考え、実践に繋げていきます。

さらに、地域協働学校運営協議会を通じて、各町会の方々や保護者の皆様と一緒に「クリーンアップ仲之」という地域清掃活動を行っています。学校周辺や公園・商店街などの清掃・美化を通して、自分たちが生活する学校やまちを大切に、愛する気持ちを育てる活動に取り組んでいますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。



新宿区立東戸山小学校 校長 江原 敦史

本校は恵まれた自然環境を生かして様々な活動をしています。特に教室半分ほどの広さがある水田では、エコギャラリー新宿の皆様のご支援を得て本格的な米作りに取り組んでいます。その中で水田に集まる様々な生き物にも目を向けながら、環境の大切さを学んでいます。飼育環境委員会では、清掃時に各学級から出るごみの量や種類を調べてまとめ、紙ごみなどの削減を呼びかけ、学校全体でごみを減らすことに取り組んでいます。



新宿区立障害者福祉センター屋上で天然のハチミツ作り

屋上で昨年から養蜂が始まりました。5匹の女王蜂が5カ所の巣箱で新宿産のハチミツを生産しています。この事業は、障害者の新しい仕事づくり、養蜂場の見学による環境教育や福祉教育の推進、作業に従事する障害者と地域住民の交流を目的に行っています。子どもたちから高齢者まで、地域の皆さんが誰でも見学ができます。1階の「喫茶ふれんど」では、ここで採れたハチミツを販売しています。一度足を運んでみて下さい。

新宿区立障害者福祉センターとの「新たな取り組み」

障害を持った方々が接客や販売による就労の喜びを体験することで、社会参画の増進につなげて行ければと、当地域センターでは、この活動を共同事業として継続的に取り組みます。



若松地域センター管理運営委員会からのお知らせ

令和3年度若松地域センター管理運営委員会 委員総会報告

令和3年度委員総会は、新型コロナウイルス感染防止のため書面表決とし、管理運営委員37名全員の書面により、全ての議案が可決承認されました。

◆議案：令和2年度事業・決算・監査報告
理事・監事の承認 令和3年度事業計画案・予算案

◆令和3年度・4年度、役員・監事・顧問

会長 野尻 信江
副会長 河原田 安啓(総務) 理事 加藤 和子(総務)
赤羽 忠明(財務) 平林 衛(財務)
生月 和子(企画) 西山 精子(企画)
目黒 和義(広報) 谷川 正美(広報)
監事 篠崎 浩昭 伊藤 一男
顧問 佐々木 ひろ子



令和元年度 若松ふれあいまつり

若松地域センター 令和3年度事業 ★印の事業実行委員募集中！一緒に活動しませんか！

事業名	開催予定日	内容
★第26回 若松ふれあいまつり	11/7(日)	豊かで楽しいまちづくり、コミュニティの醸成を目的とし、子どもから高齢者まであらゆる年齢層の人々がふれあい交流を深め、笑顔があふれる事業として実施します。
★前庭花壇整備	11月	若松地域センターを訪れる人々を綺麗な花で迎える作業を通じて、交流を図ります。
若松花いっぱい運動	11月	花の苗を地域センター前の通行者に配布することで、センター事業の周知と街並みの美化を推進します。
みどりの講座	11月	講師の指導のもと植物の知識を楽しく学びながら、参加者相互の交流を育みます。
手作り講習会	12月	手芸品を作り上げる喜びを経験してもらおうと共に、参加者同士の交流を図ります。
★第19回 ニューイヤー国際こども音楽祭	1/15(土)	若松地域の学校で学ぶ二つの国の子どもたちが一堂に会し演奏することにより、相互の交流を図ります。
★第5回文化シリーズ	2/6(日)	新宿区、若松地域にゆかりの文化人にスポットを当てることにより、地域文化の醸成を図ります。
★映像鑑賞会	年5回	映像の鑑賞を通して、地域住民の交流を図ります。
★第12回小泉八雲の怪談断	未定	地域にゆかりの文人小泉八雲の作品を上演することにより、参加者が芸術に触れ、わが町再発見の契機とします。
コミュニティバスツアー	未定	貸し切りバスを利用し、幅広い年齢層の参加が可能となるツアーを通して地域住民の交流を促します。
災害時の簡単料理	未定	災害発生でインフラが寸断されたことを想定した、カセットコンロを利用した料理を体験するとともに、災害時の心構えを再認識する事業です。
広報誌「わかまちわかまつ」	年3回発行 9~11号	若松地域の情報や地域センターの催しを知らせることで、地域センターの認知度を高め、若松地域のみならず他地域とのコミュニティの醸成を図ります。

【★印の実行委員申込み方法】①はがき(事業名・〒・住所・氏名・電話番号を記入) ②直接、若松地域センター事務局来所でお申し込みください。

※若松地域センター 新宿区若松町12-6 ☎03-3209-6030 【申込み締切日】8月10日(火)

コロナ感染症の状況により、事業の延期や中止となる場合があります。